

「全日本 学生フォーミュラ大会」参加チームに対する支援方法等について
(ガイドライン)

1. 参加チームに対する支援について

企業スポンサーは、自動車技術分野での活躍を目指す学生のものづくり教育の強力な支援者になります。下記の本大会の趣旨にご賛同いただいた企業に対して、チームの車づくりへのご支援をいただくことを目的としています。

2. 大会の趣旨

全日本 学生フォーミュラ大会は、学生にものづくりの機会を提供し、学生チームが製作した車両の走行性能だけでなく、設計・コスト・プレゼンテーション審査を含めたものづくりの総合力を競う大会です。

自動車技術会(支部含む)は、主催者として大会会場を準備し大会の運営を行います。車両づくりのための資金援助や部品・資材援助等はありません。ただし、各支部等が主体となり車づくりやドライビングの講習会などを開催し、学生たちが参加しやすい環境整備に努めます。

3. 支援企業へのお願い

- (1) 学生が努力すれば入手・獲得できる部品や情報は、原則として企業から提供しないようにしてください。過剰な支援を行うことは、学生が自ら切磋琢磨し学ぶことを阻害する要因にもなります。
- (2) 学生からの支援要請がありましたら、その支援内容が下記の「学生チームの心構え」第1項(車両製作の基本)に該当していないかどうかを必ずご確認ください。そのうえで、必要最小限の支援をお願いします。
- (3) 全日本 学生フォーミュラ大会は、国内で現在約 80 チーム強のチームが参加しています。今後ますます増えていくことも予想されますので、継続可能な範囲での支援をお願いします。なお、車両製作に直接関係しない備品等についても、上記(2)項に準じた考え方でご検討ください。
- (4) 車両の走行場所をチームに提供できる場合には、できるだけ多くのチームが参加できるようにご配慮いただき、その情報を最寄りの支部にご連絡ください。

なお、(社)自動車技術会は日本で開催する「全日本 学生フォーミュラ大会」を主催していますが、世界各地域で実施されている Formula SAE 関連イベントの参戦に関しては、

自動車技術会本部として直接の支援活動はしていません。

ファカルティアドバイザーの心構え

- (1) ファカルティアドバイザー（以下、FA）は、チームが所属する学校の常勤教職員として、各チームに少なくとも1名が所属していなければならない。
- (2) FAは複数登録することができ、登録変更は大会受付時まで可能とする。
- (3) FAは学校代表としてのチームの指導・監督責任者であり、チームメンバーと同様に大会参加登録をしなければならない。
- (4) FA不在の場合は、大会参加できない。また、競技途中でFAが不在となった場合、不在期間中は、チームピットでの作業および競技への参加ができない
- (5) FAは、学校代表の責任者として、大会参加期間中のチームと主催者との連絡係、チームメンバーのチームピットや会場内外における行動について安全・健康指導、チームメンバーに不測の事態が起こった際に対応する役割を担う。
- (6) FAは、一般的な工学やマネジメント手法をチームメンバーに指導してよい。しかし、製作する車両の設計、組み立て、修理、試験など設計・製作を手伝ってはいけない。

学生チームの心構え

1. 車両製作の基本

- (1) レギュレーションでは必要最低限の安全要件を定めている。レギュレーションの安全基準に満足せず、より安全な車づくりを心がける。
製作車両は、学生によって企画、設計、製作、試験する。カーレース関係者、自動車技術者および関係する専門家に手伝ってもらってはいけない。ただし、これら専門家からのアドバイスについては許容する。
- (2) 車両の構成部品は、自ら製作することを原則とする。自ら製作することが難しいものは、まず市販品や中古品を探し、それも困難な場合には、下記の第2項（部品支援の考え方）により対応する。
- (3) 車づくりに直接関係しない事柄、上記(2)以外で学生の努力を超える事柄については、積極的に教職員の指導を仰ぐとともに、チーム間の交流・情報交換を図る等によって遂行することが推奨される。

2. 部品支援の考え方

部品に関する支援をお願いするにあたっては、チームの活動そして支援の必要性を的確に説明する。また、大会終了後には報告を行う。なお、支援いただいた部品は、必要最小限の支援という考え方を遵守し、問題がない限り次期車両等に活用しなければならない。

(1) エンジン

エンジンの入手が必要な場合には、自動車技術会各支部が窓口になりチームとエンジンメーカーとの橋渡しをする。なお、エンジン入手にあたっては無償が原則である。エ

エンジン入手に際しては、十分な日程の余裕をもって車両開発企画・計画書を作成した上で各支部¹⁾に要望書を提出(大会のほぼ1年前が目安)する。生産の都合によりエンジン入手にかなりの月数が必要になる場合がある。

エンジンの設計変更を行う際には、その設計は第1.(2)項にもとづき学生自らが行わなければならない。また、エンジン調整も学生自らが行わなければならない。

(2) エンジン以外のパーツ

エンジン以外の部品で、設計上や工作設備等の問題により製作・入手ともに困難な場合には、該当部品を製造しているメーカーにチームが直接問い合わせ、原則有償による必要最小限の支援をお願いする。既存パーツの設計変更を行う際には、その設計は第1.(2)項にもとづき学生自らが行わなければならない。

注1)北海道支部および東北支部のチームは、関東支部が窓口として機能する。九州支部のチームは、関西支部が窓口として当面の間機能する。

3. 講習会および技術指導

設計講習会、実技講習会、試走会などは、各支部あるいは企業等が企画・実施している。これらとは別に、チームが個別に企業等の指導を受ける必要がある場合は、該当企業に直接相談するのではなく、原則として各支部を窓口として相談をする。

4. 大学OBへの支援依頼

大学OBの個人に寄付を依頼することについては、各チームに一任する。大学OBの寄付行為は個人の判断によるものであり、節度ある依頼を心がけるとともに、大学OBが在籍する企業への支援依頼と誤解されないように十分な配慮をする。

以上

- 第1版 2004年6月29日発行
- 第2版 2006年1月25日発行
- 第3版 2007年12月24日発行
- 第4版 2009年1月15日発行
- 第5版 2014年12月1日発行